

施策	7102 身近なまちづくりの推進						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	地域会議委員						
施策が目指す姿	地域の課題や意見を市政に反映させるために、定期的に地域会議を開催する。						
成果指標	地域会議出席者数.....5年間（平成25年度～平成29年度）で1,800人（現状値720人）						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	1,080.00	1,245.00	1,440.00	1,620.00	1,800.00
		実績	802.00	1,560.00	2,583.00	3,471.00	4,463.00
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	78,184	120,022	149,968	173,326	187,600
実績		75,200	113,907	138,108	178,833	204,420	
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標数値「住民参加の満足度」の目標値70%を達成するためには地域会議やまちづくり実働組織の充実を図ることが必要であるため、本単位施策による貢献度は高い。					
	達成状況	今年度から目標値を委員の会議出席率とし、全体ではH29目標値80%を達成したものの、地域別では未達の地域があった。					
	課題	現在の地域自治制度は、平成27年度から始まり3年が経過したが、未だ地域会議や地域予算提案制度を知らない市民が多い。					
	取組方針	平成31年度まで続く現行の地域自治制度の改善を図り、平成32年度以降の地域自治制度をより良いものにするため、平成30・31年度の2年間で制度の見直しを進める。					
外 部 評 価	<p>地域会議のメンバー選出であるが、世代間や男女比に偏りがあるように思われる。いろいろな地域課題を議論する中で、若い世代や女性などの比率をもう少し高くした方が良いと考える。また、職員からの課題にもあるように「地域予算提案制度」を知らない市民の方も多数いると思われるので、周知をお願いしたい。</p> <p>地域会議運営に関して、1つの地域会議の中で委員がたくさんいるが、多くの意見を聞いてもらうには、人数が多いように思われるので、議論を行う際などは、5、6名のグループ分けを行い、会議を実施するなど工夫し、運営を行っていただきたい。</p>						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	673001	非核平和事業費				11,962	100
	704401	地域会議運営事業費（栃木中央）				9,732	100
	704501	地域会議運営事業費（栃木東部）				8,009	100
	704601	地域会議運営事業費（栃木西部）				8,146	100
	704701	地域づくり応援補助金				8,669	100
	705302	地域会議運営事業費（大平）				10,330	100
	705403	地域会議運営事業費（藤岡）				15,568	100
	705504	地域会議運営事業費（都賀）				15,607	100
	705605	地域会議運営事業費（西方）				8,058	100
711506	岩船山クリフステージ補助金				2,450	100	

平成29年度 単位 施策評価表 補表

施策	7102 身近なまちづくりの推進		
区分	妥当性	妥当	地域の意見を市政に反映させる手段として当該施策は妥当と考える。
	コスト削減の余地	無	本施策の事業費は身近な地域のまちづくりであり、地域の活動量を減らさずコストを下げることはなじまない。
	受益者負担	適正	本施策は身近な地域の活性化を図るものであり、受益者負担は適正であると思われる。
	上位貢献度	有効	上位施策の実現のため、本施策の目標達成が貢献する。
	類似事業の有無	無	他に類似する事務事業は見受けられない。
	成果向上の余地	有	成果は向上しており、今後も向上を図っていく。
内部評価 【H29年度分】	貢献度		
	達成状況		
	課題		
	取組方針		
内部評価 【前期5年分】	貢献度	後期基本計画策定時の住民アンケートの結果では、住民満足度の目標値は未達だったものの、策定時の現状値よりも向上していることから、本単位施策による貢献度は高いと考える。	
	達成状況	今年度から目標値を委員の会議出席率に変更した。当初の目標値である「地域会議出席者数5年間で1,800人」は既に達成済みである。	
	課題	現行の地域自治制度が導入されて3年が経過したが、未だ地域会議や地域予算提案制度について、知らない市民が多い。	
	取組方針	現行の地域自治制度が導入されて3年が経過した。その中で新たに制度の運用等について課題が出てきており、より良い制度にするため、平成30・31年度において、制度の見直しを進める。	